

## 駅伝監督に吉村匠氏（平成 28 年卒）が就任！！！！

### ～井村光孝監督は今年度いっぱい退任し他チームへ移籍～

2024 年 4 月 1 日より、OB で東経大初の箱根駅伝ランナーとして 6 区山下りを走破した吉村匠氏（平 28）の駅伝監督就任が決定しました。

吉村氏は千葉県の名門八千代松陰高校を卒業し、一般扱いで入部してきた選手でした。入部後は長期間けがに悩まされながらも、人一倍の努力で克服し、トラックでは決して突出した記録は持っていませんが、箱根駅伝予選会などのロードでは比類稀な才能を発揮し活躍しました。国際千葉駅伝千葉選抜、第 92 回箱根駅伝関東学生連合チームの選手として、晴れ舞台での正々堂々とした走りは今も鮮明に記憶に残っています。そんな吉村氏が、井村監督の突然の退任表明にもかかわらず、サラリーマン生活に終止符を打ち、母校の指導者として就任を決意してくれました。

一方、退任される井村駅伝監督は今後、指導者としてのステップアップを図るために他の駅伝チームに移籍されるとの事です。突然の退任表明ではありますが、井村監督の指導者としての飛躍を祈りつつ気持ちよく次のチームへ送り出すことに致しました。コーチ、監督として 7 年間、弊社駅伝ブロックの成長に貢献いただき感謝の気持ちでいっぱいです。

### 次期監督 吉村匠氏選手時代と現在の戦績等

<学生時代の種目別ベスト記録>種目・記録・競技会・月日

5000m 14 分 33 秒 77 日本体育大学競技会 2013.9.29

10000m 30 分 03 秒 29 平成国際大学競技会 2014.6.7

20Km 1 時間 00 分 39 秒 箱根駅伝予選会 2015.10.17 東経大記録

ハーフマラソン 1 時間 05 分 18 秒 日本学生ハーフマラソン 2014.3.2

※吉村氏はトラックよりロードで力を発揮する選手でした。今の東経大の選手はトラックに強い選手が多く、なかなかその力をロードに繋げることができていません。自身の経験から東経大の弱点であるロードに強い選手の育成に務めてくれると思います。

## < 駅伝戦績 >

国際千葉駅伝千葉選抜で出場 2013年11月24日



5000mの記録と2013年の箱根駅伝予選会の結果(20Km1時間02分23秒)で千葉県選抜チームに選出されました。

3区(10Km) 31分23秒 区間13位

関東学生連合に選出され箱根駅伝に出場 2016年1月3日



## 【6区 箱根町～小田原 20.8Km】

吉村 匠 (4) 1時間 01分 16秒 区間 15位相当

関東学生連合チーム総合成績 11時間 15分 30秒 11位相当

### ～以下は当時の陸上競技部ニュースより～

第92回箱根駅伝に関東学生連合チームで出場した吉村匠(4)は6区山下りを魂のこもった走りで見事走破しました。東京経済大学の選手が箱根路を走るのは創部以来初の快挙です。

芦ノ湖の一斉スタート12校という稀に見るチーム数の中、吉村はスタートラインに立ちました。スタート後の約5kmは上り、集団の中でも冷静に自分のペースを刻み体力温存に努めましたが、この5kmの上りは「思いのほかきつかった。」とゴール後述べています。下りに入り一気に加速、並み居る常連校の選手たちに負けない走りで湯本まで一気に駆け下りました。湯本以降のゴールまでが地獄と言われる約2kmの道のりも表情は苦しそうでもしっかりと足取りで風祭の中継で後続のランナーに襷を繋ぎました。ゴール後倒れ込んだ際の第一声は「あ～楽しかった。」

吉村の選手としてのここまでの道のりは決して順調ではありませんでした。受験はスポーツ推薦ではなく指定校推薦、名門八千代松陰高校陸上競技部出身ですが、高校ではレギュラーではなく控え選手でした。大学で競技を続けることも悩みましたが、入部を決断、しかし、入部直後から怪我に悩まされ半年以上走れない日々を送りました。怪我が回復し2年時秋に5000m14分33秒77で自己記録を更新し、この年の箱根予選会では1時間02分23秒と大躍進、国際千葉駅伝の千葉選抜チームに選出されるなど素晴らしいシーズンを送りました。エースとして順調に練習を積み上げ3年生夏の大阪経済戦5000mで優勝を飾るとその直後にけがに見舞われ、箱根駅伝予選会欠場というチームにとっても本人にとっても大変大きな失意を味わいました。4年になり少しずつ練習も軌道に乗りだし最後のシーズンに挑んでいましたが、今年も魔の8月に盲腸で緊急手術という試練がまたも襲いました。その後1ヶ月あまりまともに走ることが出来ませんでした。何とか箱根予選会に間に合い1時間0分39秒の好記録で関東学生連合選手として箱根駅伝出場の切符を手に入れました。大学4年間で実に3分の1は怪我などに悩まされその試練を克服しての今回の快挙です。

### <現在(市民ランナーとして)の戦績>

5000m 14分54秒35 MK ディスタンス 2022.9.23

マラソン 2時間32分47秒 館山若潮マラソン 3位 2024.1.28

※市民ランナーとは言え練習レベルでは学生と一緒に走れるレベル。選手と同じトレーニングを行うことでより身近な立場で指導ができることも吉村氏の強みです。

### <指導者としての実績>

2022年1月～2023年1月までハイテクタウンというランニング塾でアンバサダー兼コーチとして活動。株式会社ドームに就職後は退任しましたが、現在も月に何度かはペーサーとして参加している。